取扱説明書

DMT-DD タッチパネル設定ツール

重要

- ・ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書をよくお読みになり、
 正しくお使いください。
- ・本書で提供するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができます。
- ・本書は、投影型静電容量方式のタッチパネルモニター専用です。
- ・モニターの接続については、お使いのモニターのセットアップマニュア ルを参照してください。
- ・最新の取扱説明書およびソフトウェアは、当社のWebサイトからダウン ロードできます。

www.eizo.co.jp



本書について

本書は、投影型静電容量方式の当社タッチパネルモニターをWindows 11 / Windows 10で動作させるために 必要な手順について説明しています。

DMT-DDについて

DMT-DD は、当社タッチパネルモニターをWindows 11 / Windows 10で動作させるためのソフトウェアです。

お使いの機種によって動作するOSが異なります。詳細は、お使いの機種の取扱説明書を参照してください。

- 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任 も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Windows、.NET Frameworkは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。 DMT-DD はDMC Co, Ltd の登録商標です。

EIZO、EIZO ロゴはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。 その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

^{1.}本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾 を得ることなく転載することは固くお断りします。

目次

本書について2			
DMT-DE	0について2		
目次	3		
第1章	はじめに4		
1-1.	概要4		
)動作条件4		
1-2.	使用上の注意事項4		
第2章	セットアップ5		
2-1.	セットアップの流れ5		
2-2.	DMT-DDのインストール6		
2-3.	タッチパネルドライバのインストール9		
) タッチパネルドライバのインストール		
	(USB接続の場合)10 ■ タッチパネルドライバのインストール		
	(COMポート接続の場合)10		
2-4.	タッチパネルの設定13		
2-5.	設定ファイルの登録15		
2-6.	タッチ位置の補正18		
2-7.	タッチパネルの感度の調整19		
第3章	タッチパネル設定ツール20		
3-1.	タッチパネルデバイス一覧21		
3-2.	ソフトウェア設定22		
) ソフトウェア設定23		
) 調整24		
3-3.	タッチ入力設定26		
)タッチ入力		
) ダッナ形式		
	 ランドオンティレイ		
	• 反転		
)X/Y軸交換28		
3-4.	端面設定29		
) 範囲と移動量29		

3-5.	タッチ音	30
•	再生方法	30
•	鳴動タイミング	31
•	Beep設定	31
•	再生ファイル名	31
3-6.	右クリック設定	32
3-7.	ハードウェア設定	33
3-8.	ハードウェア情報	34
3-9.	設定ファイル	35
•	設定ファイル	35
•	設定ファイルの追加、削除	36
•	デフォルト設定	36
3-10.	モニタ設定	37
3-11.	タッチ設定	38
3-12.	マウス設定	39
3-13.	設定ツール	40
•	常駐設定	40
第4章	こんなときは	41
第5章	参考情報	43
5-1.	タッチパネルドライバのアンインストール	43
•	USB接続の場合	43
•	COMポート接続の場合	43
5-2.	DMT-DDのアンインストール	45

第1章 はじめに

1-1. 概要

DMT-DDは、タッチパネルを動作させるために必要となる次の機能を提供しています。

- ・ タッチパネルドライバのインストール/アンインストール
- タッチパネルドライバの設定

● 動作条件

投影型静電容量方式のEIZOタッチパネルモニターでDMT-DDを動作させるための条件は次のとおりです。

OS*1	・Windows 11(64ビット)
	・Windows 10(32ビット / 64ビット)
ソフトウェア	.Net Framework 4.6
ハードディスク	システムドライブに10MBほどの空き容量/データファイル保存容量
インターフェース	• USB
	・RS-232C(COMポート接続)

※1 OS提供元のサポート終了にともない、当社のサポートも終了します。

注意点

・お使いの機種によって動作するOSが異なります。詳細は、お使いの機種の取扱説明書を参照してください。

・Windows 11 / Windows 10のシステムビルダーバージョンは、使用できません。

参考

 ・システムプロパティは「タッチ(制限あり)のサポート」と表示される場合がありますが、タッチパネルの 動作に問題はありません。

1-2. 使用上の注意事項

下記のような状態で本ソフトウェアを使用した場合、正常に動作しない場合があります。

- 本書の説明とは異なった方法での使用
- 指定の動作条件以外での使用
- マウスエミュレーションソフトウェアや類似の機能を有するソフトウェアがインストールされた環境での使用
- 旧バージョンの上書きインストール後の使用
- ・当社では、本ソフトウェアに起因するいかなるトラブルに関しても一切の責任を負いかねます。本ソフトウェアを導入する前に、必ずシステムのバックアップをお取りください。

第2章 セットアップ

2-1. セットアップの流れ

- 1. 接続する
 - お使いの機種のセットアップマニュアルを参照してください。



.

2-2. DMT-DDのインストール

注意点

バージョンアップなどでDMT-DDを再インストールする場合、いったんDMT-DDをアンインストールしてください。その後コンピュータを再起動し、DMT-DDをインストールしてください。

1. 管理者権限を持つユーザーアカウントでコンピュータにログオンします。

ユーザーアカウントの権限については、システム管理者に問い合わせてください。

2.光学ドライブに「EIZO LCDユーティリティディスク」を挿入します。

3.「タッチパネル」タブを開き、「タッチパネルドライバ」-「インストール」をク リックします。

「DMT-DDセットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。

参考

- ・当社のWebサイトからDMT-DDをダウンロードしてインストールする場合は、次の手順に従ってインストール します。
 - 1. ダウンロードファイルを解凍します。
 - 2. 「DMT-DDSetup_ms.msi」をダブルクリックします。

注意点

- ・使用しているOS用とは異なるインストーラを実行すると、メッセージが表示されてインストールできません。専用のインストーラを実行してください
- 4.「次へ」をクリックします。



「ライセンス条項」画面が表示されます。

5. 内容を確認し、「同意する」を選択して「次へ」をクリックします。

伊 DMT-DD	—		×
ライセンス条項			
ライセンス条項をお読みください。以下の条件に同意される場合は「同から」、 ら「次へ」をクリックしてください。その他の場合は「キャンセル」をクリック	意する]す うしてくた	ミクリック Eさい。	してか
著作権 本ソフトウェアの著作権は株式会社ディ・エム・シー(以下D 帰属します。	MC)(2		^
使用権 お客様は、お客様が使用権を得ているコンピュータ上でのみ 使用する権利を与えられます。	ŀ		~
, ○同意しない(D) 回意する(A)			
キャンセル く戻る()	3)	次へ(N) >

インストールが開始されます。

インストールが完了すると「インストールが完了しました。」というメッセージが表示されます。

インストールの途中で、次のような画面が何度か表示される場合があります。そのときは「インストール」
 をクリックしてください。

団 Windows セキュリティ	×
このデバイス ソフトウェアをインストールしますか?	
名前: DMC ヒューマン インターフェイス デバイス 参愛発行元: DMC Co., Ltd	
□ "DMC Co., Ltd" からのソフトウェアを常に信頼する(<u>A</u>)	インストール(I) インストールしない(N)
・ 信頼する発行元からのドライバー ソフトウェアのみをインスト トウェアを判断する方法	ールしてください。安全にインストールできるデバイスソフ

6.「閉じる」をクリックします。

岁 DMT-DD	-		×
インストールが完了しました。			
DMT-DD は正しくインストールされました。			
終了するには、 [閉じる] をクリックしてください。			
Windows Update で、.NET Framework の重要な更新があるかどうかをむ	観烈し	てください。	
キャンセル < 戻る(B)	閉じる	(C)

DMT-DDが正常にインストールされると、デスクトップにショートカットが作成されます。



2-3. タッチパネルドライバのインストール

DMT-DD をインストールしただけではタッチパネルは動作しません。タッチパネルモニターごとにドラ イバをインストールする必要があります。タッチパネルの接続方法によってインストール手順が異なり ます。

注意点

- ・ユーザーアカウントにコンピュータの管理者権限が必要です。ユーザーアカウントの権限については、システム 管理者へ問い合わせてください。
- ユーザーアカウント制御の設定によって、次のような画面が表示される場合があります。「はい」をクリックしてください。

👽 ユーザー アカウント制御	\times
? このアプリが PC に変更を加えることを許可しますか?	
プログラム名: DMT-DD 確認済みの発行元: DMC Co., Ltd ファイルの入手先: このコンピューター上のハードドライブ	
○ 詳細を表示する(D) はい(Y) いいさ	₹(N)
これらの通知を表示するタイミングを変	<u>を更する</u>

参考

- コンピュータに接続するタッチパネルモニターを追加または変更した場合、追加または変更したタッチパネルモニターに対してドライバのインストールが必要になります。
- ・接続するケーブルによって、タッチパネルドライバのインストール方法が異なります。
 - RS-232Cケーブルを使用する「COMポート接続」のインストール方法の詳細は、「タッチパネルドライバのイン ストール(COMポート接続の場合)」(P.10)を参照してください。
 - USBケーブルを使用する「USB接続」のインストール方法の詳細は、「タッチパネルドライバのインストール (USB接続の場合)」(P.10)を参照してください。
- ・1台のタッチパネルモニターでCOMポート接続とUSB接続を同時に使用することはできません。

● タッチパネルドライバのインストール(USB接続の場合)

DMT-DD をインストール後に USB ケーブルを接続すると、自動的にタッチパネルドライバがインス トールされます。DMT-DD をインストールする前に USB ケーブルを接続している場合は、USB ケー ブルを一度外してから接続し直すか、「インストール」をクリックしてください。

注意点

・インストール完了後にコンピュータを再起動する必要があります。

● タッチパネルドライバのインストール(COMポート接続の場合)

1.信号ケーブルが正しく接続されているか確認します。

2.DMT-DDを起動します。



3.「タッチパネルデバイス一覧」から、タッチパネルドライバをインストールする タッチパネルのアイコンを選択します。

参考

タッチパネルドライバをインストールするモニターの画面をタッチすると、タッチしたモニターと接続しているアイコンが選択されます。



4.「インストール」をクリックします。

🍕 タッチパネル設定ツール		-		\times
デバイスの追加	タッチパネルデバイス一覧	сомж∽	卜検索無効	
基本設定	COM Port			
モニタ設定	(COM1) 未接続			
タッチ設定				
マウス設定				
設定ツール				
終了	リスト更新 ア)	インストール	インストー	л

注意点

「インストール」をクリックするとメッセージが表示される場合があります。

インストール		×
	デバイスの接続を確認してください	
	ОК	

次の点を確認して再度「インストール」をクリックしてください。

- 「COMポート検索無効」のチェックがオンになっている場合はオフにしてください。
- RS-232Cケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

確認画面が表示されます。

5.「はい」をクリックします。

インストールが開始されます。

インストール		×
?	インストールを開	始しますか?
	はい(Y)	いいえ(N)

参考

初めてインストールする場合、次のような画面が何度か表示されます。「インストール」をクリックします。

= Windows セキュリティ	×
このデバイス ソフトウェアをインストールしますか?	
名前: DMC ヒューマン インターフェイス デバイス 参愛 発行元: DMC Co., Ltd	
□ "DMC Co., Ltd" からのソフトウェアを常に信頼する(<u>A</u>)	インストール(I) インストールしない(N)
信頼する発行元からのドライバー ソフトウェアのみをインスト トウェアを判断する方法	ールしてください。 安全にインストールできるデバイス ソフ

インストールが完了するとメッセージが表示されます。

インストール		×
1	インストールを終了しました PCを再起動してください	
	ОК	

6.「OK」をクリックします。

インストールが完了します。

インストールが正常に完了すると、「タッチパネルデバイス一覧」のアイコンがインストール後のア イコンに変わります。



7. コンピュータを再起動します。

2-4. タッチパネルの設定

タッチパネルデバイス (USB 接続または COM ポート接続) と、モニター (DVI や D-Sub などの映像信号ケー ブル接続)を関連付けます。

注意点

- ・モニターを交換したり、接続するCOMポートやUSBポートを変更すると、以下の手順を実行する必要があります。
- モニターの表示方法(拡張、複製表示、または画面のアスペクト比)を変更した場合は、以下の手順を実行する 必要があります。
- 1.「モニタ設定」の「モニタ構成」ボタンをクリックします。

🤏 タッチパネル設定ツール	- 0	×
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1	
基本設定		
モニタ設定		
タッチ設定		
マウス設定		
設定ツール		
終了	モニタ更新	

最初のモニターに次の画面が表示されます。

このモニタのタッチパネルを2回連続してタッチしてください。 次のモニタを設定する場合は、Enter ボタンを押します。 キャンセルするには、ESC ボタンを押します。 このモニタで設定されたドライバが下記に表示されます。

画面が表示されているモニターがタッチパネルモニターではない場合、キーボードの「Enter」を押 します。上の画面が次のモニターに移動します。画面が表示されているモニターがタッチパネルモニ ターになるまで続けます。

設定をキャンセルする場合は、キーボードの「Esc」を押します。

2. タッチパネルを2回タッチします。

タッチパネルデバイスとモニターが関連付けられ、タッチパネルモニター上の表示が次の画面に変わります。



参考

・表示内容は環境によって変わります。

3. 選択画面を閉じます。

キーボードの「Enter」を押します。

実行結果が表示されます。

関連付けされたモニターがアクティブになり、ドライバのIDが表示されます。

🤜 タッチパネル設定ツール	– 🗆 X
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1
基本設定	
モニタ設定	
タッチ設定	
マウス設定	
設定ツール	
終了	モニタ更新 モニタ構成

4. コンピュータを再起動します。

2-5. 設定ファイルの登録

設定ファイルを登録してタッチパネルの動作モードを設定します。

注意点

タッチパネルモニターごとに登録が必要です。

1.「基本設定」の「Device Select」から、設定ファイルを登録するタッチパネルドラ イバを選択します。

🤏 タッチパネル設定ツール		-		×
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1			
基本設定	ソフトウェア設定 タッチ入力設定 端面設定 タッチ音 ハードウェア設定 ハー	-ドウェア情報	設定ファイノ	ιL
モニタ設定	設定ファイル Mouse.mfd	~	登録	

2.「設定ファイル」タブの「設定ファイル」プルダウンメニューから入力方法に応じたファイルを選択します。

設定ファイル	
~	登録
Mouse.mfd	

(Touch.mfd)	(Mouse.mfd)
2点以上の同時タッチに対応します。*1 同	同時タッチ点数は1点のみです。
マウスと同じような操作ができるほか、画像の拡大・縮小や回転といっマたマルチタッチ操作が可能になります。	マウスを操作する場合と同様にカー ノルが反応します。

※1 同時タッチできる点数は、お使いのモニターによって異なります。詳細は、モニターの取扱説明書を参照 してください。

参考

・初期設定では「設定ファイル」が登録されていません。設定ファイルが未登録の場合はタッチデジタイザー モード(「Touch.mfd」ファイル)が選択されます。マウスエミュレーションモードを使用したい場合は 「Mouse.mfd」ファイルを選択してください。

3.「登録」をクリックします。

🍕 タッチパネル設定ツール		-		×
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1			
基本設定			設定つっく	th.
モニタ設定	シノドンエア&RAE ≫777/VI&RAE ™milliBRE ≫77音 パード/II/8RE パード. 設定ファイル Mouse.mfd		登録	

メッセージが表示され、設定が完了します。

「Touch.mfd」を選択した場合、引き続き以下の操作をおこないます。

4.「タッチ設定」の「TabletPC設定」から「開く」をクリックします。

Windows標準の設定画面「タブレットPC設定」 / 「Tablet PC 設定」が表示されます。

褼 タッチパネル設定ツール		-		×
デバイスの追加	TabletPC設定 タッチパネルの調整画面を開く			
基本設定	開いた先の画面で各種設定を行ってください。		厭	
モニタ設定	ヘンとタッチ タッチ入力の設定画面を閉く 開いた先の画面で各種設定を行ってください。		厭	
タッチ設定				

5.「画面」タブを選択し「構成」-「セットアップ」をクリックします。

💐 タブレ	ノット PC 設定	\times
画面	その他	
- 構成 ペン	え とタッチ ディスプレイを構成します。	

最初のモニターに次の画面が表示されます。

タッチスクリーンであることを指定するには、この画面をタッチしてください。
この画面が TabletPC 画面でない場合は、Enter キーを押して次の画面に移動します。 ツールを終了するには、Esc キーを押してください。

画面が表示されているモニターがタッチパネルモニターではない場合、キーボードの「Enter」を押 します。上の画面が次のモニターに移動します。画面が表示されているモニターがタッチパネルモニ ターになるまで続けます。

設定をキャンセルする場合は、キーボードの「Esc」を押します。 設定が完了するとメッセージが閉じ、「タブレットPC設定」/「Tablet PC設定」画面に戻ります。 **6.**「タッチパネル設定ツール」を表示し、「基本設定」 – 「タッチ入力設定」タブを開きます。

🬏 タッチパネル設定ツール	-		Х
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1		
基本設定	ソフトウェア設定 タッチ入力設定 端面設定 タッチ音 ハードウェア設定 ハードウェア情報	設定ファイ	01
モニタ設定	入力設定 タッチ入力 タッチ形式 タッブ通知タイミング タッチデータモード		
タッチ設定	通常モード >	~	

7. 「タッチデータモード」をお使いのOSに合わせて設定します。

設定	説明	
シリアルモード	Windows 8.1以前のOSをお使いの場合に選択します。	
ハイブリッドモード(初期設定)	Windows 10以降のOSをお使いの場合に選択します。	

モニタ設定	入力設定 タッチ入力 タッブ通知タイミング	タッチ形式 タッチデータモード
タッチ設定	通常モード 🗸	シリアルモード 🗸
マウス設定	リフトオフディレイ	50ms 100ms
設定ツール	タッチ有効 タッチ有効 □ 無効	反転 ────────────────────────────────────
終了	X/Y軸交換 交換有効	登録

8. 選択が完了したら「登録」をクリックします。

メッセージが表示されます。



「OK」をクリックします。

9. コンピュータを再起動します。

2-6. タッチ位置の補正

タッチした位置とタッチに反応して表示されるカーソルの位置を合わせるために補正します。

- **1.**「基本設定」の「Device Select」から、位置を補正するタッチパネルモニターを選択します。
- 2.「ソフトウェア設定」タブの「4点補正」または「9点補正」をクリックします。

🤜 タッチパネル設定ツール	- 🗆 X
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1
基本設定	ソフトウェア設定 タッチ入力設定 端面設定 タッチ音 ハードウェア設定 ハードウェア情報 設定ファイル
モニダ設定	ソフトウェア設定 □転 (角度) ● 0 90 180 270 □ 自動回転
タッチ設定	登録
マウス設定	調整 タイムアウト(秒)
設定ツール	4点補正 9点補正 ●無じ 16 0.30 0.60 確認 リセット EEPROM EEPROM<
終了	

補正画面が表示されます。

3. 画面上に表示されているマーカーの中心をタッチします。

\bigcirc				
	a a a a a a a a a a a a a a a a a a a	周整サンブルを入力するには、十字が画面に表示 スキキャープレスイギャル	されるたびに	
	1	されをタッフしてくたさい。		
	8	副整サンプル入力を中止するには、Enter ボタン?	を押します。	
	8]整が完了するまで、画面の向きを変更しないで	ください。	

マーカーをタッチすると、次のマーカーが表示されます。続けてマーカーの中心をタッチします。 すべてのマーカーをタッチすると補正が完了します。確認画面が表示されます。

4.「OK」をクリックします。

位置の補正が完了します。

2-7. タッチパネルの感度の調整

タッチパネルモニターの感度を調整します。

- 1.「基本設定」の「Device Select」から、感度を調整するタッチパネルモニターを選択します。
- 2. 「ハードウェア設定」タブの「開く」をクリックします。

🍕 タッチパネル設定ツール	-		×
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1		
基本設定	ソフトウェア設定 タッチ入力設定 端面設定 タッチ音 ハードウェア設定 ハードウェア情報 設	定ファイル	IL I
モニダ設定	タッチパネルメンテナンス H/W調整が必要な場合は聞いた先の画面で調整してください。	89/	
タッチ設定		H1/	I
マウス設定			
設定ツール			
終了			

感度調整画面が表示されます。

TPOffset version Tools(T) Version(V)

wice List	- C X Firmware Control - X
Interface © US0 CC04	Device Device Device Running offset adjustment and calibration Image: Ima
	Dev.5 Dev.6 Dev.7 Dev.3 Dev.9 N/A N/A N/A N/A N/A N/A N/A N/A N/A N/A N/A N/A

感度調整画面が閉じると調整は完了です。

第3章 タッチパネル設定ツール

DMT-DDを起動すると「タッチパネル設定ツール」画面が表示されます。 「タッチパネル設定ツール」を使用すると、タッチパネルの動作設定や補正がおこなえます。

褼 タッチパネル設定ツール	- 🗆 X
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1
基本設定	ソフトウェア設定 タッチ入力設定 端面設定 タッチ音 ハードウェア設定 ハードウェア情報 設定ファイル
モニタ設定	ソフトウェア設定 回転 [角度] 回転 [角度] 回転 0 90 180 270 □ 自動回転
タッチ設定	登録
マウス設定	調整 タイムアウト(秒)
設定ツール	4点補正 9点補正 ● 無じ 13 0.00 確認 リセット EEPROM 日本 日本 日本
終了	

3-1. タッチパネルデバイス一覧

「デバイスの追加」をクリックすると「タッチパネルデバイス一覧」に USB 接続されているタッチパネル モニター、接続可能な COM ポート、またはインストールされている COM ポート接続のタッチパネルモ ニターがアイコンで表示されます。

🤏 タッチパネル設定ツール			_		×
デバイスの追加	タッチパネルデバイス一覧		сомж-		
基本設定	USB Port	COM Port			
モニダ設定	Touch Panel Controler	(COM1) 未接続			
タッチ設定					
マウス設定					
設定ツール					
終了	リスト更新		アンインストール	インストー	J.

参考

- ・USB接続のタッチパネルを接続したり切断すると、自動的に「タッチパネルデバイス一覧」が更新されます。
- 「リスト更新」をクリックすると、「タッチパネルデバイス一覧」が更新されます。
- 「COMポート検索無効」のチェックをオンにすると、COMポートに対してタッチパネルが検索されなくなります。初期設定のチェックはオフです。チェックをオフにすると、COMポート接続されているタッチパネルが自動的に検索されます。
- 「タッチパネルデバイス一覧」は、タッチパネルドライバのインストールまたはアンインストール中は自動更新 されません。
- アイコンは次のように表示されます。

アイコン	COM Port (COM1) 未接続	COM Port (COM1) TSC Controler	TP Driver (COMX) ID:1	USB Port Touch Panel Controler	TP Driver (USB) ID:1
接続	未接続	COMポート	COMポート	USBポート ^{*1}	USBポート
タッチパネル ドライバ	-	未インストール	インストール済	未インストール	インストール済
状態	-	-	0	-	0

○:タッチパネルモニターとして使用可能です

※1 DMT-DDをインストールする前にタッチパネルモニターをUSB接続している場合に表示されます。アイコン を選択して「インストール」をクリックするか、USB接続を一度切断してからもう一度接続するとドライバ がインストールされます。

3-2. ソフトウェア設定

モニター表示の回転に合わせたタッチ位置の回転やタッチ位置の補正ができます。

設定するときは、「基本設定」の「ソフトウェア設定」タブを選択します。

注意点

・以降の手順を実施する前に、「モニタ構成」のセットアップが完了している必要があります(「2-6. タッチ位置の補正」(P.18)参照)。

.

• • • • • • • • • • • • • • • • • •

🧏 タッチパネル設定ツール	- 🗆 X
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1
基本設定	ソフトウェア設定 タッチ入力設定 端面設定 タッチ音 ハードウェア設定 ハードウェア情報 設定ファイル
モニタ設定	ソフトウェア設定 □転 [角度] ● 0 0 90 180 270 □ 自動設定
タッチ設定	登録
マウス設定	調整 タイムアウト(秒)
設定ツール	4点補正 9点補正 確認 リセット
終了	□ 使用する

● ソフトウェア設定

OSの設定でモニターの表示を回転させた場合、タッチ位置が正しく検出されない場合があります。 画面の回転に合わせてタッチ位置が正しく検出できるように設定します。設定後、「登録」をクリッ クすると設定が有効になります。



設定は、「3-9. 設定ファイル」(P.35)の選択によって異なります。

「Mouse.mfd」ファイルを選択した場合

「自動回転」のチェックをオンにした場合、画面の回転に合わせてタッチ位置が自動で回転されます。 「自動回転」のチェックをオフにした場合、モニター画面の回転にタッチ位置を対応させるためには 「回転 [角度]」で手動設定する必要があります。

注意点

 「自動回転」機能を有効にするためには、常駐機能を有効にする必要があります。常駐機能が無効のまま 「自動回転」のチェックをオンにして「登録」をクリックすると、メッセージが表示されます。「OK」をク リックすると常駐機能が有効になり、自動回転機能が有効になります(「常駐設定」(P.40)参照)。

「Touch.mfd」ファイルを選択した場合

Windows の機能で座標が回転します。「回転[角度]」および「自動回転」を設定する必要はありません。 特殊な環境などで Windows によって回転がおこなわれない場合に、自動回転機能を使用してください。

● 調整

タッチ位置を補正できます。投影型静電容量方式のタッチパネルモニターの場合は必ず補正をおこ なってください。設定後、「登録」をクリックすると設定が有効になります。

- 調整			タイムアウト	(秒)		
	4点補正	9点補正	 ● 無し 	O 15) 30	0 60
	確認	リセット	EEPROM □ 使用する		<u></u>	録

4点補正/9点補正

タッチした位置とカーソルの位置を合わせます。詳細は、「2-6. タッチ位置の補正」(P.18)を参照してください。

確認

4点補正/9点補正の結果を確認します。理想の位置が青色、タッチした位置が赤色で表示されます。確認を終了する場合は、画面上の「Enter」をクリックするか、キーボードの「Enter」を押します。





4点補正の結果の例



リセット

4点補正/9点補正の結果を削除します。 確認の画面が表示されるので、補正結果を削除する場合は「はい」をクリックします。

キャリブレーション	\times
? 調整をリセットしますか?	
はい(Y) いいえ(N)	

タイムアウト(秒)

初期設定:無し

設定値:「無し」/「15」/「30」/「60」秒

「無し」以外に設定すると、4点補正または9点補正中に、設定した秒数の間タッチ操作がない場合に補正を中止(タイムアウト)します。タイムアウト後「OK」をクリックするか、設定したタイムアウト時間が経過すると補正前の状態に戻ります。

キャリブレーション	>	<
タイムアウトにより中	止しました。	
	OK	

EEPROM

初期設定:チェックオフ(使用しない)

「使用する」のチェックをオンにして登録ボタンをクリックすると、補正データをタッチパネル モニター内のメモリに保存します。

注意点

 お使いのモニターによっては使用できない場合があります。その場合、次のように表示されますが故障で はありません。

-EEPROM-

EEPROMがありません。

3-3. タッチ入力設定

タッチパネルごとに、タッチ時の動作を設定することができます。「基本設定」の「タッチ入力設定」タ ブを選択し、各項目を設定します。設定は「登録」をクリックすると有効になります。

🤜 タッチパネル設定ツール		- 🗆 X
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1	
基本設定	ソフトウェア設定 タッチ入力設定 端面設定 タッチ	音 ハードウェア設定 ハードウェア情報 設定ファイル
モニタ設定	入力設定 タッチ入力 タッブ通知タイミング	タッチ形式 タッチデータモード
タッチ設定	通常モード >	シリアルモード 〜
マウス設定	リフトオフディレイ	50ms 100ms
設定ツール	タッチ有効 タッチ有効 リッチ有効	反転 ────────────────────────────────────
終了	X/Y軸父抉 交換有効 □ 有効	登録

● タッチ入力

タッチ入力の動作を設定することができます。

タップ通知タイミング

-入力設定		
_タッチ入力───		
タップ通知タイミン	ヴ	
	通常モード	\sim

タッチ操作およびタッチを離す操作のシステムへの伝え方は次の通りです。

○:操作した瞬間にシステムに伝えます。

-:操作した瞬間にはシステムに伝えません。

設定	タッチ操作	タッチを離す操作
通常モード(初期設定)	0	0
離したときクリック	—	○*1
タッチしたときクリック	○*1	—
※1 カッエ掃佐レカッエも	※オ場作も同時にシステノ ににうます	

※1 タッチ操作とタッチを離す操作を同時にシステムに伝えます。

注意点

- ・「離したときクリック」/「タッチしたときクリック」を選択した場合、次のような動作になります。
 - ドラッグ操作が利用できなくなります。
 - タッチ音の「鳴動タイミング」(P.31)で「タッチダウン中」を選択すると、タッチ音が再生されなくなります。
 - 「3-9. 設定ファイル」(P.35)で「Touch.mfd」ファイルを選択したときに、次のような動作になります。
 - ポインターがカーソル表示に変わります。
 - フリック操作や長押しでの右クリックは無効になります。

● タッチ形式

選択しているタッチパネルドライバのタッチデータモードをお使いのOSに合わせて設定します。 「設定ファイル」(P.35)でTouch.mfdを選択した場合に設定します。

注意点

・変更後はコンピュータの再起動が必要です。

タッチデータモード

タッチ形式 タッチデータモー	×.	
	シリアルモード	\sim

設定	説明
シリアルモード	Windows 8.1以前のOSをお使いの場合に選択します。
ハイブリッドモード(初期設定)	Windows 10以降のOSをお使いの場合に選択します。

● リフトオフディレイ

「リフトオフディレイ――											
リフトオフディレイ		1	1	ı	I	1	1	1	I	1	1
	無効					50ms					100ms

初期設定:無効

設定值: 無効 / 10ms ~ 100ms (10ms 単位)

タッチを離したときから設定した時間経過した後で、タッチを離したことをシステムに伝えます。シ ステムに伝える時間を遅延させることで、一瞬だけタッチが離れてしまった状態を無視することがで きます。

● タッチ有効

タッチ有効――

タッチ有効 🗌 無効

初期設定:チェックなし(タッチ有効) 「無効」をチェックすることで、タッチ入力を無効化します。



反転 X □ 有効 Y □ 有効

X

初期設定:チェックなし

「有効」をチェックすることで、タッチした際の X 座標が反転して出力されます。

Υ

初期設定:チェックなし

「有効」をチェックすることで、タッチした際のY座標が反転して出力されます。

● X/Y軸交換

-X/Y軸交換

交換有効 🛛 有効

初期設定:チェックなし

「有効」をチェックすることで、タッチした際の X 座標(X)と Y 座標(Y) が入れ替わって出力されます。

3-4. 端面設定

カーソルが画面の端面に近づく際の、カーソルの移動量を増加または減少することができます。 設定は「登録」をクリックすると有効になります。

例えば、タスクバーを自動的に隠している設定にしている場合、タスクバーを表示させるためにカーソルを移動させるときに効果的です。

🍜 タッチパネル設定ツール						-		×
デバイスの追加	Device Select	(USB)ID:1						
基本設定	ソフトウェア設定	タッチ入力設定	端面設定	タッチ音	ハードウェア設定	ハードウェア情報	設定ファー	111
モニタ設定	-端面補助 - 範囲と移動量	<u>}</u>	範囲	*1	移動量	X		
タッチ設定		上 下	0	\$	0	÷		
マウス設定		左 右	0	÷	0	÷		
設定ツール								
終了						登録	セット	

●範囲と移動量

上下左右の画面端面の範囲と移動量を設定します。

範囲[%]

初期設定:0 設定値 :0%~50%

移動量 [%]

初期設定:0 設定値 :-50 %~50 %

参考

「リセット」をクリックするとすべての設定値が初期設定値にリセットされます。
 例:画面下辺にタスクバーがあり、自動でタスクバーを隠す設定にしている場合、「下」の項目で「範囲
 [%]」=10、「移動量[%]」=20を目安に設定するとタスクバーを表示しやすくなります。設定値はお使いの環境に合わせて調整してください。

3-5. タッチ音

ドライバのタッチ音の動作を設定することができます。「基本設定」の「タッチ音」タブを選択します。 設定は「登録」をクリックすると有効になります。

🍕 タッチパネル設定ツール	- 🗆 X
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1
基本設定	ソフトウェア設定 タッチ入力設定 端面設定 タッチ音 ハードウェア設定 ハードウェア情報 設定ファイル
モニタ設定	
タッチ設定	● 無効 ○ パートリア 音主 ○ ファール 音主 ○ ファール 音主 鳴動タイミング ● タッチアップ時 ○ タッチダウン時 ○ タッチダウン中
マウス設定	Beep設定 周波数 [Hz] 1000 🜩 維続時間 [ms] 55 🌩
設定ツール	- 再生ファイル名
終了	登録

●再生方法

タッチ音を再生する方法を設定します。

-再生方法-

◉ 無効

○ ハードウェア再生 ○ ソフトウェア再生 ○ ファイル再生

設定	説明	オプション設定	常駐
無効(初期設定)	タッチ音を鳴らしません。	-	不要
ハードウェア再生	コンピュータのマザーボード内蔵のBeep機能を利 用してタッチ音を鳴らします。	「Beep 設定」(P.31)	不要
ソフトウェア再生	Beep音を生成してスピーカーからタッチ音を鳴ら します。	「Beep 設定」(P.31)	必要
ファイル再生	音声ファイルをタッチ音として再生します。	「再生ファイル名」(P.31)	必要

注意点

- お使いのコンピュータによってはタッチ音の再生が利用できない場合があります。
- 「ハードウェア再生」の場合、コンピュータのハードウェア構成によってはタッチ音が再生されない場合 があります。
- 「ソフトウェア再生」または「ファイル再生」の場合、常駐機能を有効にする必要があります。
- 設定の登録時に常駐機能が無効の場合は、メッセージが表示されます。「OK」をクリックすると常駐機能 が有効になり、タッチ音が再生できるようになります(「常駐設定」(P.40)参照)。

● 鳴動タイミング

タッチ音を鳴らすタイミングを設定します。

-鳴動タイミング-

タッチアップ時 〇 タッチダウン時 〇 タッチダウン中

設定	説明
タッチアップ時(初期設定)	タッチアップ時(タッチを離すとき)に鳴らします。
タッチダウン時	タッチダウン時(タッチするとき)に鳴らします。
タッチダウン中	タッチしている間鳴り続けます。*1

※1 「タッチ入力」 (P.26) で、「離した時クリック」または「タッチした時クリック」を選択するとタッ チ音が鳴りません。

● Beep設定

「再生方法」(P.30)で「ハードウェア再生」または「ソフトウェア再生」を選択したときにス ピーカーから再生する音の周波数と継続時間を設定します。

-Bee	設定・
000	POXAE.

周波数 [Hz]	1000 🚖	維続時間[ms]	55 🌲

周波数 [Hz]

初期設定:1000 Hz 設定値 :37 Hz ~ 32767 Hz タッチ音の周波数を設定できます。

継続時間 [ms]

初期設定:55 ms 設定値 :1 ms ~ 5000 ms タッチ音の継続時間を設定できます。

● 再生ファイル名



「再生方法」(P.30)で「ファイル再生」を選択したときに再生する音声ファイルを設定します。

参考

・選択できる音声ファイルはwavファイル(拡張子:.wav)のみです。

3-6. 右クリック設定

タッチパネルの操作でマウスの右クリックと同様の動作ができるように設定できます。「基本設定」の「右 クリック」タブで設定します。設定は「登録」をクリックすると有効になります。

注意点

 「3-9. 設定ファイル」(P.35)で「Touch.mfd」ファイルを選択した場合は、「右クリック」の設定タブが表示されません。「Touch.mfd」ファイルを選択した場合の右クリックは、Windows標準の「ペンとタッチ」画面 (「ペンとタッチ」(P.38)参照)で設定します。

🬏 タッチパネル設定ツール		-		×
デバイスの追加	Device Select (USB)[D:1			
基本設定	ソフトウェア設定 タッチ入力設定 端面設定 タッチ音 右列ック ハードウェア設定	/\-\ ^s .	フェア'情報	• •
モニタ設定	- 右りリック 入力方法 長押L, マ			
タッチ設定		~~ +		
マウス設定		<i>//</i> /		
設定ツール	短~~	≫大		
終了		登録		

入力方法

次の中から選択します。

設定	説明
無効(初期設定)	右クリックはできません。
長押し	タッチパネルを押し続けると、右クリックと同様の動作になります。
2点タッチ	タッチパネルモニターを複数の指で同時にタッチすると、右クリックと同様の動
	作になります。

「長押し」を選択した場合、「右クリックタイム」と「右クリックエリア」を設定します。

右クリックタイム

初期設定:300 (ms)

設定範囲:100~1000 (ms)

設定した時間よりも長くタッチし続けると、右クリックと同様の動作になります。

右クリックエリア

設定した範囲内でタッチしている場所を移動しても右クリックと同様の動作になるように設定できま す。

3-7. ハードウェア設定

投影型静電容量方式のタッチパネルモニターの場合、タッチパネルの感度を調整できます。「基本設定」 の「ハードウェア設定」タブを選択します。

.

🍓 タッチパネル設定ツール		-		×
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1			
基本設定	ソフトウェア設定 タッチ入力設定 端面設定 タッチ音 ハードウェア設定 ハードウェア	情報	設定ファ	1JL
モニタ設定	ータッチパネルメンテナンス H/W調整が必要な場合は開いた先の画面で調整してください。		88/	
タッチ設定			開入	
マウス設定				
設定ツール				
終了				

タッチパネルメンテナンス

「開く」をクリックすると、感度調整ソフトウェア「TPOffset」が起動し、タッチパネルモニターの 感度を調整します。

TPOffset画面の例

TPOffset version Tools(T) Version(V)

Device List	- X Firmware Control - X
Interface © USB CCCM © Dev. No. 0 VID 0000FA PID 000705	Information Dev.1 Dev.2 Dev.4 Dev.0 Dev.1 Dev.2 Dev.4 N/A N/A N/A N/A N/A N/A Dev.5 Dev.5 Dev.7 Dev.8 Dev.9 N/A N/A N/A N/A N/A N/A N/A N/A N/A N/A

調整が完了すると、「TPOffset」は自動的に終了します。

.

3-8. ハードウェア情報

タッチパネルドライバのバージョン情報やステータスを確認します。「基本設定」の「ハードウェア情報」 タブを選択します。

.

🤏 タッチパネル設定ツール		-		×
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1			
基本設定	ソフトウェア設定 タッチ入力設定 端面設定 タッチ音 ハードウェア設定 ハードウェア	加春報	設定ファイ	้าเ
モニタ設定	バージョン DEVICE REVISION 0200			
タッチ設定			要求	
マウス設定	ステータス CONNECT STATE OK			
設定ツール		_		
終了	×		要求	

バージョン

選択したタッチパネルのドライババージョンを確認できます。「要求」をクリックすると、選択され ているタッチパネルのドライババージョンが表示されます。

ステータス

選択しているタッチパネルのステータスを確認できます。「要求」をクリックすると、選択されてい るタッチパネルのステータスが表示されます。

3-9. 設定ファイル

使用する用途に合わせて、タッチパネルの動作モードを定義する「設定ファイル」を選択できます。「基本設定」の「設定ファイル」タブで設定します。

🤜 タッチパネル設定ツール	_		<
デバイスの追加	Device Select (<u>USB)ID:1</u>		
基本設定	ソフトウェア設定 タッチ入力設定 端面設定 タッチ音 ハードウェア設定 ハードウェア情報	: 設定ファイル	1
モニタ設定	設定ファイル Mouse.mfd イ	登録	
タッチ設定	設定ファイルの追加、削除 設定ファイルの(呆存フォルダを開く (男存っ、川水(25年でラーム)にもなた、割(26)(ステキン、	89/	
マウス設定	1キバチノオルタにまたビファイルを作動た 肝切取して 下でい。 デフォルト設定 このドライバーの設定をデフォルト値として登録	1#17	
設定ツール	ドライバーインストール特に登録した情報で設定を初期化します。 登録	リセット	
終了			



初期設定:未登録(「Touch.mfd」が選択されます。)

選択しているタッチパネルドライバまたはタッチパネルコントローラの設定ファイルを変更できま す。「設定ファイル」プルダウンメニューから、入力方法に応じたファイルを選択し「登録」をク リックします。

タッチデジタイザーモード (Touch.mfd)	マウスエミュレーションモード (Mouse.mfd)
2点以上の同時タッチに対応します。 ^{*1}	同時タッチ点数は1点のみです。
マウスと同じような操作ができるほか、画像の拡大・縮小や回転といったマルチタッチ操作が可能になります。	マウスを操作する場合と同様にカー ソルが反応します。
※1 同時タッチできる点数は、お使いのモニターによって異なります。詳	細は、モニターの取扱説明書を参照

参考

してください。

 初期設定では「設定ファイル」が登録されていません。設定ファイルが未登録の場合はタッチデジタイザー モード(「Touch.mfd」ファイル)が選択されます。マウスエミュレーションモードを使用したい場合は 「Mouse.mfd」ファイルを選択してください。

● 設定ファイルの追加、削除

「開く」をクリックすると、設定ファイルが保存されているフォルダが開きます。通常、使用する必要はありません。

● デフォルト設定

選択しているタッチパネルの設定を、次回以降に新しくタッチパネルを接続するときの初期設定とし て登録できます。「ソフトウェア設定」(P.22)/「タッチ入力設定」(P.26)/「タッチ音」(P.30) /「右クリック設定」(P.32)/「設定ファイル」の各項目を設定し、「登録」をクリックします。登録 した設定は、次回以降に新しくタッチパネルドライバをインストールするときの初期設定となります。 登録した設定を削除する場合は、「リセット」をクリックします。

注意点

・タッチパネルには個体差があるため、「4点補正」および「9点補正」は複数のタッチパネルで同じ設定には ならない場合があります。タッチパネルごとに補正してください。

3-10.モニタ設定

マルチモニター環境で使用する場合に、タッチパネルデバイス(USB 接続または COM ポート接続)と、 モニター(DVI や D-Sub などの映像信号ケーブル)を関連付けます。

注意点

・モニタ設定を実行する前に、「タッチパネルドライバのインストール」を完了しておく必要があります。(「2-3. タッチパネルドライバのインストール」(P.9)参照)

🤏 タッチパネル設定ツール	X
デバイスの追加	Device Select (USB)ID:1
基本設定	
モニダ設定	
タッチ設定	
マウス設定	
設定ツール	
終了	モニタ更新 モニタ構成

モニタ更新

接続しているモニターの配置を更新できます。「モニタ更新」をクリックすると更新されます。

モニタ構成

タッチパネルデバイスとモニターを関連付けることができます。設定が完了するとモニターがアク ティブになります。

.

3-11.タッチ設定

注意点

- ・「3-9. 設定ファイル」(P.35)で「Mouse.mfd」を選択する場合、「タッチ設定」の操作は不要です。 「Touch.mfd」を選択した場合に設定します。
- タッチパネルモニターの構成やタッチ位置の補正、タッチ入力の調整設定をおこなうことができます。

🍜 タッチパネル設定ツール		-		×
デバイスの追加	TabletPC設定 タッチパネルの調整画面を開く			
基本設定	開いた先の画面で各種設定を行ってください。		猒	
モニタ設定	ヘンビンジナ タッチ入力の設定画面を開く 開いた先の画面で各種設定を行ってください。		闎	
タッチ設定				
マウス設定				
設定ツール				
終了				

TabletPC設定

タッチモニターの構成や、タッチ位置の補正をおこなうことができます。「開く」をクリックする と、Windows標準の設定画面「タブレットPC設定」が表示されます。

注意点

・「4点補正 / 9点補正」(P.24)を実行している場合、Windows標準の調整機能は使用しないでください。 既に設定済みの場合はリセットが必要です。Windows標準の設定画面「タブレットPC設定」で「リセット」 をクリックしてください。

ペンとタッチ

タッチ入力に関するWindowsの各種設定を呼び出します。

タッチ入力の調整設定ができます。「開く」をクリックするとWindows標準の設定画面「ペンと タッチ」が表示されます。

3-12.マウス設定

Windows 標準のマウス設定画面を表示できます。

🍓 タッチパネル設定ツール		-		×
デバイスの追加	マウスのプロパティ マウスのプロパティ画面を開く			
基本設定	開いた先の画面で各種設定を行ってください。	開	ĸ	
モニタ設定	入力設定 ダブルクリックタイム 短 <<	≫長		
タッチ設定	ダブルクリックエリア			
マウス設定		>>>大		
設定ツール				
終了				

マウスのプロパティ

「マウスのプロパティ」-「開く」をクリックします。
 Windows標準の設定画面「マウスのプロパティ」が表示されます。

マウスのプロパティ	×
ボタン ポインター ポインターオプション ホイール ハードウェア	
ボタンの掲成	
□ 主と割のボダンを切り替える(S) 選択やドラッグなどの主な機能に右側のボダンを使用する 場合は、このチェックボックスをオンにします。	
ダブルクリックの速度	
イトリング・ゲージョン・マングリンジンして、 またとう ハトレマハとさ い。フルレダーが聞いたり閉じたりしない場合は、速度を遅くし てください。	
速度(D): 遅く 速く	
クリックロック	
□ クリックロックをオンにする(T) 設定(E)	
マウスのボタンを押したままでなくたち、強調表示やトラッグができます。項目をクリッ クレ、マウスのボタンを少しの間押したままにしてから難します。次に、目的の位置ま でマウスを移動し、そこでもう一度クリックします。	
OK キャンセル 遠用(A)	

入力設定

- **ダブルクリックタイム** ダブルクリックとして認識される時間を設定することができます。
- **ダブルクリックエリア** ダブルクリックとして認識される範囲を設定することができます。

3-13.設定ツール

各種の情報を表示します。

ドライバおよび設定ツールのバージョン情報が確認できます。



● 常駐設定

機能によっては、DMT-DDをコンピュータに常駐させる必要があります。 必要に応じて常駐機能を有効にしてください。

- 常駐選択チェックボックス

選択チェックボックス	常駐機能
チェックあり	有効 ^{*1}
チェックなし(初期設定)	無効*2

.

※1 コンピュータの起動時に常駐機能が自動的に実行されます。

※2 通常のタッチ操作はおこなえます。

常駐機能について

常駐機能が有効な場合、次の機能が有効となります。

- タッチ音再生機能

「タッチ音入力」タブの「タッチ音」-「再生方法」で「ソフトウェア再生」または「ファイル再生」を選択した場合、設定に従ってタッチ音を再生します。(「3-5. タッチ音」(P.30)参照)

- 自動回転機能

「3-9. 設定ファイル」(P.35)で「Mouse.mfd」ファイルを選択する場合に機能します。(「3-2. ソフトウェア設定」(P.22)参照)

第4章 こんなときは

症状	原因と対処方法
1. タッチパネルドライバを	・ 別の COM ポートまたは USB ポートに接続してインストールをお試しください。
インストールできない	 モニターのセットアップマニュアルまたは取扱説明書に記載のケーブルでモニター
	とコンピュータを接続してください。変換アダプタなどを利用すると、タッチパネ
	ルが正しく動作しない場合があります。
	・ COM ポート接続の場合、「デバイスの追加」の「COM ポート検索無効」のチェッ
	クがオンの場合、タッチパネルドライバのインストールはできません。次の手順で
	設定してください(13-1.タッチパネルデバイス一覧」(P.21)参照)。
	1. 「COM ボート検索無効」のチェックをオフにします。
	2. 「リスト史新」をクリックします。
	3. インストールするボートを選択して「インストール」をクリックします。
2. マウスカーソルが表示さ	・「基本設定」の「設定ファイル」で「Mouse.mfd」を選択して「登録」をクリック
れない	してくたさい(13-9.設定ファイル」(P.35)参照)。
	・ ダッナハネルトライハを一度アンインストールし、もう一度インストールし直し(シスノギナロ、(「5.1.カッチパラル」)ニノバのマンノンフレール」(D.42)「2.2.カッ
	みてくたさい (15-1. ダッナハネルトフィハのアフィンストール」 (P.43)、 Z-3. ダッ エパラルドニスバのスシストール」 (D.0) 会昭)
3. カークル12直か9 れる/	 「基本設定」の「ソノトリエア設定」ダノを衣示し、「調査」の「4 只相止」または「9 占述正」で位置の述正たしてユスノギナロ、「2.6 クッチ位置の述正」(D19) 会昭)
リーノルが飛ぶ	二開止」(位置の開止をしてのてください(12-0.ダダナ位置の開止」(P.10) 多照)。 「甘木設字」の「端面設字」なずたまテレー 範囲を移動量を調整してれてください。
	• 「奉本設た」の「端面設た」タフを衣小し、範囲と移動重を調整してみてくたさい (「3-4 提面設定」(D 20) 参昭)
	・「
	リセットしてみてください(「3-11 タッチ設定」(P 38)参昭)
	・モニターの雷源を入れなおしてみてください。
4. タッチ操作が効かたい	・ 通信ケーブル(USBまたはRS-232C)が正しく接続されているかを確認してくださ
	 タッチパネルドライバがインストールされていることを確認してください(「2-3.
	タッチパネルドライバのインストール」(P.9)参照)。
	 他のログインユーザーが設定を変更した可能性があります。設定をやり直してくだ
	さい。
	・「基本設定」の「タッチ入力設定」タブを表示し、「タッチ有効」の「無効」の
	チェックをオフにしてください(「タッチ有効」(P.27)参照)。
	 タッチパネルモニターの取扱説明書を参照して、タッチパネルモニターの機能で
	タッチ操作が無効になっていないか確認してみてください。
	 タッチバネルドライバの設定ツールを再起動するか、コンビュータを再起動してく
5. 同時に2点以上のタッチ	・「基本設定」の「設定ファイル」で「Touch.mfd」を選択して「登録」をクリック
を認識しない	してくたさい(「3-9.設定ファイル」(P.35)参照)。
	・コンビュータを冉起動してみてくたさい。
6. 右クリック操作ができな	・ 「基本設定」の「右クリック」の「入力方法」の設定を確認してください(「3-6.
し い	
	 「石クリック」タフか表示されない場合、「タッチ設定」の「ベンとタッチ」の 「問く」たちは、ちょうですたち。
	「開く」をクリックし(Windows標準の「ベンとタッチ」画面を表示して右クリックをおいた。
	クを設定し(くたさい(「3−11. タッナ設定」(P.38)参照)。

症状	原因と対処方法				
7. タッチ音が鳴らない	・「基本設定」の「タッチ音」を設定してみてください(「3-5. タッチ音」				
	(P.30)参照)。				
	 「基本設定」の「タッチ音」の「鳴動タイミング」で「タッチダウン中」を選択 				
	した場合、「基本設定」の「タッチ入力」で「通常モード」を選択してください				
	(「タッチ入力」(P.26)参照)。				
	 「基本設定」の「タッチ音」の「再生方法」で「ソフトウェア再生」または「ファ」 				
	イル再生」を選択している場合、次の点を確認してください。				
	- スピーカーを接続してください。				
	- スピーカーの音量を上げてみてください。				
	- 「設定ツール」の「常駐設定」の「有効」のチェックをオンにしてください				
	- 「ノアイル冉生」を迭択している場合、迭択したWaVノアイルが止しいか確認し				
	してんださい。 コンピュークのハードウェア堪応によっては、クッチ辛を出力したい担合がおりまし				
	• コンビュータのハードウェア構成にようては、ダッナ自を田川しない場合がのりました。				
8. 画面を回転するとダッナ	・ 「基本設定」の「ソフトウェア設定」の「目動回転」のチェックをオンにするか、				
山道かりれる	「凹転〔月没〕」を凹面の凹転に合わせ(設正し(くたさい(「ソフトウエア設				
	走」(P.23) 参照)。 、「設守ツール」の「党駐設守」の「右劫」のチェックをオンにしてください」(「党」				
	 ・ 「設定ノール」の「帯転設定」の「有効」のチェックをオンにしてくたさい(「帯				
9 ドラッグ操作が涂由で涂	・ 一瞬だけタッチが離れたと判断されている可能性があります。「リフトオフディレ				
切れる	イレ (P27) の設定を「無効」以外に設定してみてください。				
10 (フルチエニター理信)	- $\begin{bmatrix} 2 & 4 & 2 & 3 \\ 0 & 2 & 2 & 2 \\ 0 & 2 $				
10. (マルノビニメー環境)	・ 12-4、タリアハネルの設定」(F.15)を参照してビニターとメリアハネルを関連				
ターにカーソルが表示さ	・ $[2-5] 設定ファイルの登録」 (P15) で「Touch mfd」を選択した場合 「タブ$				
カる	レットPC設定」でモニターとタッチパネルを関連付ける必要があります(「3-11				
100	タッチ設定」(P.38)参照)。				
11. (マルチモニター環境)	・タッチパネルの設定が完了していません。「2-4.タッチパネルの設定」(P.13)				
「複数のモニタを検出」	を参照してモニターとタッチパネルを関連付けてください。				
というメッセージが表示					
される					
12. DMT-DDをアンインス	・ 「設定ツール」の「常駐設定」の有効のチェックをオフにしてください(「常駐設」				
トールできない	定」(P.40)参照)。				

第5章 参考情報

5-1. タッチパネルドライバのアンインストール

● USB接続の場合

DMT-DDをアンインストールすると、タッチパネルドライバは自動的にアンインストールされます。

● COMポート接続の場合

1.DMT-DDを起動します。

「タッチパネル設定ツール」画面が表示されます。

2. アンインストールするタッチパネルを選択します。

「タッチパネルデバイス一覧」から、アンインストールするタッチパネルのアイコンを選択します。

参考

タッチパネルドライバをアンインストールするモニターの画面をタッチすると、タッチしたモニターと接続しているアイコンが選択されます。

🍓 タッチパネル設定ツール		- D >	
デバイスの追加	タッチパネルデバイス一覧	COMポート検索無効 🗌	
基本設定	TP Driver		
モニタ設定	(COM1) ID-1		
タッチ設定			
マウス設定			
設定ツール			
終了	リスト更新	アンインストール インストール	

3.「アンインストール」をクリックします。

確認画面が表示されます。

4.「はい」をクリックします。

アンインストールが開始されます。

アンインストール		×
? 7	ンインストールを開	始しますか?
[(はい(Y)	เงเงส์(N)

アンインストールが完了するとメッセージが表示されます。

5.「OK」をクリックします。

アンインストールが完了します。

アンインストール	×
) アンインストールを終了 PCを再起動してください	じました
	OK

6. コンピュータを再起動します。

5-2. DMT-DDのアンインストール

注意点

- ・DMT-DDをアンインストールすると、インストールされているすべてのタッチパネルドライバが自動的にアンイン ストールされます。
- ・常駐機能が有効の場合、アンインストールが失敗する場合があります。DMT-DDをアンインストールするときは、 常駐機能を無効に設定してください。(「常駐設定」(P.40)参照)
- **1.**「DMT-DDSetup_ms.msi」をダブルクリックします。

インストーラが起動します。「DMT-DDセットアップウィザードへようこそ」画面が表示されます。

2.「DMT-DDの削除」を選択し、「完了」をクリックします。

岁 DMT-DD	-	-	×
DMT-DD セットアップ ウィザードへよう	にそ		
DMT-DD の修復または削除のどちらかを選択してくだ	きい。		
○ DMT-DD の修復(R) ● DMT-DD の削除(M)			
キャンセル	< 戻る(B)	完	7(F)

アンインストールが開始されます。完了すると完了画面が表示されます。

参考

ユーザーアカウント制御の設定によって、次のような画面が表示される場合があります。削除する場合は「はい」をクリックしてください。

・ ユーザー アカウント制御 ×			
? このアプリが PC からソフトウェアを削除することを許可しますか?			
プログラム名: DMT-DDSetup.msi 確認済みの発行元: DMC Co., Ltd ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ			
○ 詳細を表示する(D) はい(Y) いいえ(N)			
<u>これらの通知を表示するタイミングを変更する</u>			

3. 「閉じる」をクリックします。

闄 DMT-DD		-	-		×
インストールが完了しました					
DMT-DD は正常に削除されました。					
終了するには、[閉じる]をクリックしてく	ださい。				
	キャンセル	< 戻る(B)		閉じる(C)

アンインストールが完了します。





03V25879G2 UM-DMT-DD-C

7th Edition - June, 2022